



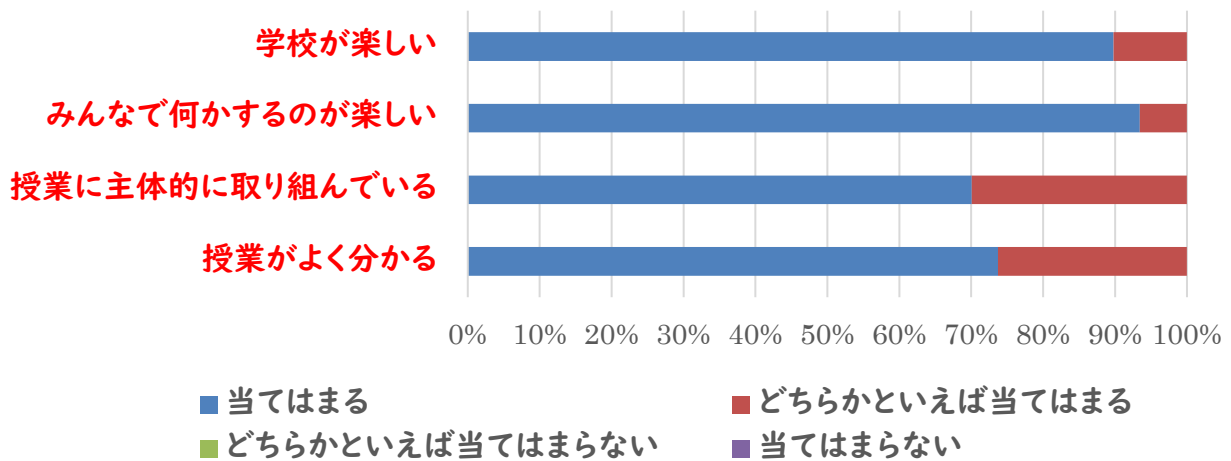
学校だより

令和5年度
三方小学校だより第3号
5.30(発行者千田)

「五月病」とは、5月のゴールデンウィークを過ぎた頃にそれまでの元気がなくなりなんとなく体調が悪くなるという状態のことを指します。五月病は、主にストレスが原因で起こります。新しい環境に変わることが多い新年度は、特にストレスがたまりやすい時期なのです。ゴールデンウィークから3週間、子ども達の様子を注意深く見守っていましたが、とても伸び伸びと元気に学校生活を送っています。3年余り続いた新型コロナによる制限が大きく緩和されたことも影響していると思います。5月中旬に実施した以下の「学校生活アンケート」の結果を見ると、初めて4項目全てにおいて「否定的な回答」をした児童が一人もいませんでした。ただ実際には、友達同士のトラブル、学習内容がよく理解できない子などともいます。職員みんなで力を合わせて、「三方小 137人 みんな笑顔」の学校になるように頑張りたいと思います。



学校生活アンケート(5月)全校児童



体育大会に向けて

いよいよ三方小の体育大会がせまってきました。先週の木曜日より4色に分かれてのパフォーマンス練習が始まりましたが、下級生が思うように動いてくれない色もあり、悪戦苦闘しています。きっと6年生は、人の上に立つ難しさを学んでいることと思います。「苦しいとき、それは伸びているとき」です。失敗や苦しみを通して子どもたちは多くのことを学んでいることと思います。



体育大会テーマ

はじけろ みかたっ子 広がれ 笑顔の輪
～みんなが主人公(ヒーロー)～

今年の体育大会テーマは右記に決定しました。

みんなで力を合わせていくことで、連帯感が生まれ、大きな達成感も味わうことができます。集団の中での人とかかわり合いから、心を合わせて努力することや困ったときに助け合うことの良さを肌で感じてほしいと思います。子どもたちの活躍を楽しみにしています。当日、本気になって頑張る子どもたちの姿をご覧ください。

ゆりかご米づくり

三方小学校は毎年、保護者や地域の方々、関係機関の協力を得てゆりかご米づくりを行っています。三方湖のコイやフナの稚魚を田んぼで育てるために、自然農法で、お米を育てています。カエルや虫など、他の生き物にとっても、住みやすい「生き物のゆりかご」の復活を目指し「ゆりかご米」と名づけられています。

米作りは鳥浜の松村光洋さんの御指導のもと、畦ぬりから始め、田植え、草取り、稲刈りなどの工程を分担しながら行っています。また、鳥浜漁協長の田辺喜代春さんや里山里海湖研究所の協力を得て、コイ・フナの卵を孵化させ、従来農法のように田んぼでコイやフナを成長させた後、三方湖につながる河川に放流しています。このような環境学習の取り組みが認められ、平成三十年度環境美化優良校表彰事業で最優秀校の一つの「農林水産大臣賞」を受賞しました。また令和元年度には、第54回全国野生生物保護実績発表大会において「文部科学大臣賞」を受賞しました。今後も学校、家庭、地域が一体となって三方地区の自然環境を守るとともに、ふるさとを愛する子を育成していきたいと思っております。以下にゆりかご米づくりの流れを説明します。

ゆりかご米づくりは、5年生が中心に行っています。



5/2 シュロ付け【5年】

シュロを川に吊して、コイやフナに卵を産み付けさせます。



5/9 畦ぬり【5年】

松村さんにやり方を教えていただいた後、田んぼに入り畦ぬり初挑戦。



5/11 シュロ上げ【5年】

卵がついたシュロを川から引き上げました。ゆりかご田でふ化させます。



5/12 田植え【4~6年】

始めに粹回しを行い、4年生は泥まみれになりながら田植え初挑戦。



5/15 畦シート設置【5年】

気山地区の石地さんにやり方を教えていただき畦シートを設置しました。



5/26 1回目の草取り【5年】

泥を手でかき混ぜながら、苗の周りから生えている雑草を浮かせました。

6月

- 3日(土) 校内体育大会【学校公開日】
- 4日(日) 体育大会予備日【雨天 三方体育館】
- 5日(月) 振替休日
- 7日(水) 交通安全教室【5、6年】
- 8日(木) 家庭地域学校協議会
- 9日(金) 薬物乱用防止教室【5、6年】
- 14日(水) 避難訓練
- 17日(土) 読書週間スタート ~23日(金)

今後の予定

- ・数回の草取り
- ・ゆりかご田の魚計測、放流(夏休み)
- ・稲刈り(9月)
- ・粃干し(9月)
- ★本年度は、ゆりかご米を町内小中学校の給食として食べてもらう予定です。